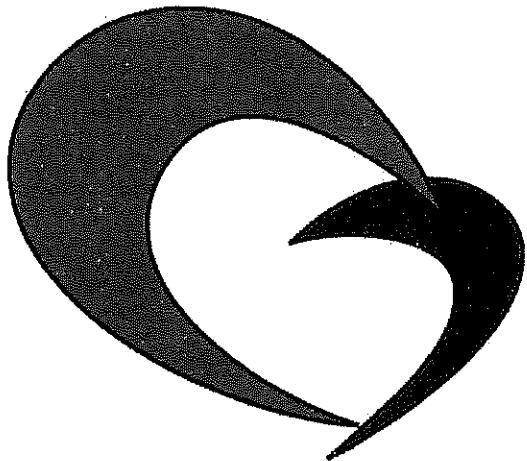


平成 30 年度  
事業計画書



《理念》  
共生 協働 自律

社会福祉法人 大館市社会福祉事業団

## 目次

平成 30 年度 大館市社会福祉事業団 本部 事業計画	1
平成 30 年度 大館市養護老人ホーム成章園 事業計画	6
平成 30 年度 大館市特別養護老人ホームつくし苑 事業計画	14
平成 30 年度 大館市デイサービスセンター大滝 事業計画	26
平成 30 年度 大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション 事業計画	28
平成 30 年度 指定居宅介護支援事業所おおたき 事業計画	30
平成 30 年度 大館市地域包括支援センターおおたき 事業計画	32
平成 30 年度 大館市ケアハウスほうとう 事業計画	37
平成 30 年度 大館市立老人福祉センター 事業計画	42
平成 30 年度 大館市ふれあいセンターやまびこ 事業計画	43
平成 30 年度 年間事業計画(成章保育ルーム森のおうち)	45
平成 30 年度 大館市へき地保育所 事業計画	47
平成 30 年度 年間事業計画(二井田保育所)	50
平成 30 年度 年間事業計画(真中保育所)	52
平成 30 年度 年間事業計画(下川沿保育所)	54
平成 30 年度 年間事業計画(沼館保育所)	56
平成 30 年度 年間事業計画(花岡保育所)	58
平成 30 年度 年間事業計画(矢立保育所)	60
平成 30 年度 年間事業計画(長木保育所)	62

# 平成 30 年度 大館市社会福祉事業団 本部 事業計画

## 1. 運営方針

平成 30 年度は、介護保険の報酬改定の年にあたり、法人運営の軸となる高齢者福祉事業の収入に大きく影響を受けることから、各加算要件に係る整備を迅速に行い、収入の増加に繋げる。

高齢者福祉事業における厳しい収支状況の改善を図るために、物品購入に係るコストの見直しや給与規程の改定等に着手し、単年度の黒字化が図れる経営体質の強化に取り組む。

現在管理を受託しているへき地保育所の園児の減少化への対応や厨房業務の集約化を図るために設備投資等の課題について、市関係課と連携を図りながら検討をすすめ、法人としての方針が明確になるように取り組む。

近隣地域の関係機関や関係団体等の協力を得ながら、防犯面での安全確保や行事等の円滑な運営に努めるとともに、社会福祉法人として様々な面から地域に貢献する体制を整え、地域に密着した法人運営を推進する。

ISO9001 認証返上に伴う法人管理体制を見直すとともに、「秋田県介護サービス事業所認証評価制度」における認証を目指し、評価項目の体制整備に取り組みながら「人財育成や仕事と家庭の両立支援を推進する法人」の姿勢を広く示し、人財の確保と定着に繋げる。

## 2. 本部事務局における委員会活動

### 【人財育成委員会】

#### 1. 運営方針

平成 29 年度に整備した「キャリアパス」については、その具体的な運用に取り組むとともに法人内での定着を目指したい。しかしながら、現時点においては高齢者施設・事業所職員に適用範囲が限定されていることから、保育士のキャリアパスについても検討の機会を設けたい。

また、法人としての研修体制は少しずつ成熟しつつあるものの、受講内容を各事業所において活かしていくには、指導者層のOJT(on the job training:職場内の教育訓練)が求められることから、指導者層の教育についても検討をさらに加え人財育成体制の成熟を図りたい。

## 2. 重点目標

- (1) キャリアパスに基づく研修の実施
- (2) より実践に活かせる研修プログラムの検討ならびに実施
- (3) 保育士のキャリアパスに関する検討

## ※年間研修計画(法人合同研修)

	(経験0～1年) ステップ0	(経験1～2年) ステップ1	(経験2～3年) ステップ2	(経験4～5年) ステップ3	(6年～) ステップ4	(指導職候補) ステップ5	(副主任・リーダー) 指導職	(主任・係長) 監督職	管理職
4	新採用職員研修 ～3月まで	品質目標活動報告会(高齢者事業所のみ)							
5							※内部監査員研修		
6		コミュニケーション		介護(看護)過程の理解					
7			スーパー・ビジョン(演習)				※指導者研修II		
8			介護保険制度と他事業所体験	リーダーシップの理解					
9					原因分析と再発防止				
10	腰痛予防講座(衛生委員会)								
11		サービス管理とリスク管理I							
12			サービス管理とリスク管理II				※力量評価者研修		
1									
2									
3									
時期未定						※指導者研修I (外部)		※管理監督者研修 (外部)	

※印…対象者のみ

## 【感染症予防対策委員会】

### 1. 重点目標

(1) 法人内において、感染症情報を迅速かつ効果的に把握し共有する。

- ① 社内メールの活用により、適時迅速に法人内の感染情報を収集し発生状況を共有する。

- ② 各事業所が県感染情報センターや大館保健所の感染症発生に係わる週間情報等を適時収集する。
- (2) 利用者・地域住民など、対象に応じた感染症予防の情報を発信する。
- ① 社内報やポスター等の掲示を活用し、職員へ職場と家庭内での感染予防の徹底を図る。
  - ② 利用者やご家族・地域住民に向け、広報誌や掲示物を活用し、季節性感染症や日常の予防対策・発生時の適切な対処法について情報を発信する。
  - ③ 清掃や宿直など委託職員に対し、パンフレット等を活用し、感染症の基本的知識や手洗い等の標準予防策の重要性について周知する。

## 【衛生委員会】

### 1. 重点目標

- (1) 職員が心身の健康を維持できるよう、様々な健康活動を支援する。
- ① 職員の受動喫煙防止に向け、法人各事業所における現状の把握、及び、喫煙者対策を具体的に検討し、平成31年度の施設内禁煙施行に向けて取り組む。
  - ② 事業団健康マイレージ活動を推進し、参加率の向上を目指す。
  - ③ 35歳以上の職員に対する生活習慣病予防健診の効率的効果的な実施により、コストや時間効率の向上と速やかな保健指導につなげる体制を整備する。
  - ④ 腰痛予防に向けた実践的取り組みを継続する。
- (2) メンタルヘルス、ハラスマントの予防機能の強化に取り組む。
- ① ハラスマントに対する理解を深められるよう、勉強会を開催する。(施設管理職、衛生委員)
  - ② 社内報の活用やニュースレターの発行を通し、職員へハラスマントに関する情報を発信し、ハラスマントの理解と周知を図る。
  - ③ 職場におけるハラスマントの実態を調査し、課題を整理する。

## 【広報委員会】

### 1. 重点目標

「事業団ホームページを定期・随時で更新する仕組みを構築する。」

事業団ホームページは、トップページを初め、各施設・事業所サイトの定期・随時での更新が不充分であり、情報発信ツールとして、有効活用ができていない。

各施設・事業所の最新情報を発信するために、事業団ホームページを定期・随時で更新する仕組みを構築する。

## 2. 平成 30 年度広報誌発刊計画並びにホームページ更新計画一覧

区分	広報誌発刊、HP更新時期及び内容
広報 「ほほえみ」	・4月、10月。各事業所行事内容等。 右開き8ページ
職員向け広報 「なごみ」	・6月、12月。本部・委員会情報、職員の話題他。 左開きA3両面二つ折り4ページ
事業団ホームページ	・トップページ写真(スライドショー形式)更新3ヶ月毎(四季に合わせて) ・「ほほえみ」PDFのサイトアップ。 ・各事業所サイト更新の働き掛け ・役員職員組織図、各種法人情報等の開示

### 【災害防犯委員会】

#### 1. 運営方針

平成 29 年度途中より災害防犯対策検討部会したことから、災害部門では有事の際に各施設から応援要請があった場合、速やかに対応できるようにする。また防犯部門では不審者への対応について各施設で共通認識を持てるよう取り組む。

### 【重点目標】

#### 2. 重点目標

##### (1) 駆けつけ訓練の実施

へき地保育所2ヶ所の避難訓練に合同で参加し、保育所までの応援経路、保育所内及び保育所付近の避難場所を把握する。

##### (2) 防犯講習の実施

平成 29 年度に大館警察署警察官からの指導を受けた不審者対策を各施設に周知し、各施設で共通した対応ができるようにする。

##### (3) 広域災害派遣についての共通認識を持つ

平成 30 年度より秋田県において秋田県広域災害ネットワークが構築される予定のことから、そちらの情報を注視しながら、要請があった際には対応・協力できるようにする。

## 3. 年間管理運営計画

月	内 容
4	・年度始め式、辞令交付式(4月1日付) ・評議員選任解任委員会 ・臨時評議員会 ・本部会議(毎月開催) ・広報ほほえみ発行

月	内 容
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告、決算書作成</li> <li>・監事監査会</li> <li>・平成 30 年度予算補正(一次)</li> <li>・定時理事会</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時評議員会</li> <li>・苦情解決第三者委員報告会(H29 年度下半期分)</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒高校生求人求職情報交換会参加</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県介護サービス認証評価制度専門セミナー受講</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正職員採用試験①</li> <li>・定期人事異動内示(10月 1 日付)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度市指定管理料等要求手続き</li> <li>・辞令交付式(10月 1 日付)</li> <li>・広報ほほえみ発行</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情解決第三者委員報告会(H30 年度上半期分)</li> <li>・正職員採用試験②、正職員登用試験</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事納め式</li> <li>・秋田県介護サービス事業所認証申請手続き</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事始め式</li> <li>・職員自己申告書提出</li> <li>・力量評価実施</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度事業計画案作成</li> <li>・次年度資金収支予算案作成</li> <li>・本部事務局ヒアリング(予算、人事)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時理事会</li> <li>・平成 30 年度予算補正(二次)</li> <li>・定期人事異動内示(4月 1 日付)</li> </ul>

# 平成 30 年度 大館市養護老人ホーム成章園 事業計画

## 1. 運営方針

### (1) 大館市養護老人ホーム成章園・成章園外部サービス利用型特定施設・成章園ヘルパーステーション

養護老人ホームは、65 歳以上であって、身体上・精神上・環境上・経済的な理由から家庭で養護を受けることが困難な高齢者が入所する、行政による措置施設である。

平成 17 年度から養護老人ホームでも介護保険が利用できるようになり、成章園においても平成 19 年 1 月より介護サービスを提供してきた。現行の外部サービス利用型では、ヘルパーステーションからヘルパーが派遣される仕組みであることから、時間を指定したうえでのマンツーマンの援助となり、ヘルパーの人数を確保することが難しく、また利用者へのサービスのスケジュールを組むのが困難であるなど、必要な時間にサービス提供ができない等により、入居者への柔軟なサービス提供を阻害していた。しかし、平成 27 年度から制度改正により、養護老人ホームにおいても一般型特定施設入居者生活介護事業が導入できる仕組みとなった。一般型特定制度のメリットとしては、利用者が必要な時間に必要な援助を受けられる仕組みとなることから、これまで以上にきめの細かいサービス展開を実施できることである。平成 30 年度は外部サービス型から一般特定型への移行に取組み、より利用者に寄り添ったサービス提供を行う。

また、近年の入所者の傾向として、家族による DV(ドメスティックバイオレンス)により入所となるケースが増加しており、住所閲覧制限、外出制限、電話・面会制限など身元を伏せた対応が増えている。こうした状況を踏まえた対応を整備しながら、入居者の尊厳を尊重し暮らし方を自己決定できるよう支援に努める。

## 2. 重点目標

### (1) 相談部門

平成 30 年度は「外部サービス利用型特定施設」から「一般型特定施設」への転換を目指している。転換によるメリット・デメリットを説明する機会を持ち、利用者及び家族の理解を得たい。

成章園では、施設内ルール等において勤続年数が長い職員の記憶に頼るところが多々ある。これらの規則を整備し、職員異動等があった場合でも、規則がわかるように整備したい。

- ① 一般型特定への移行について、利用者や家族に説明し理解を得る。
- ② 文書等に記載されていない施設内ルールを「見える化」する。

### (2) 介護部門

成章園では、平成 30 年度途中より特定施設の形態を現在の「外部サービス利用型特定施設」から「一般型特定施設」への転換を目指しているため、転換後の利用者の援助や生活状況、必要な業務を整理し、一般型特定としての機能を活かした生活援助を実施していく。

また、利用者の生活意欲の引出しと自立支援を目指した活動を展開していく。

- ① 利用者個別のニーズを引き出すための関係づくりをする。
- ② 趣味活動やクラブ活動を促進する。

### (3) 看護部門

加齢に伴う身体機能の低下や、複数の疾患を抱えながら日常生活を送っている利用者が大半を占める現状においては、定期的な病院受診が必要不可欠な状況にある。安全で円滑な受診対応は当然のことであるが、各々の利用者が受診スケジュールを把握する事は、日常生活の組み立てや園内行事等への参加の可否、調整を自ら判断する材料になる。健康管理に努めるとともに、自立支援の一環として受診スケジュールの把握が出来るよう働きかけを行っていく。

- ① 利用者が次回受診予約日を把握するシステムを構築する。

### (4) 栄養部門

平成 29 年度は栄養委員会と共同し、口腔機能の維持の為に歯科医師、歯科衛生士との連携を図ってきた。今年度も連携活動を継続し、口腔ケアの重要性・必要性について利用者及び職員に理解を得ることが重要であり、活動を継続する。

成章園ではここ数年、毎年窒息事故が発生している。窒息事故は生命に係るケースもあり、食事時の見守り体制などを整備・強化してきたが、平成 30 年度は有効的に食事形態を見直すシステムの構築に取組む。

- ① 歯科医師・歯科衛生士と連携した活動を促進し、口腔機能を維持すると共に、利用者及び職員の意識向上を図る。
- ② 食事形態を有効的に見直すシステムを構築する。

### (5) 事務部門

成章園では、平成 30 年度途中より特定施設の形態を現在の「外部サービス利用型特定施設」から「一般型特定施設」への転換を目指している。現行制度において福祉用具はレンタル可能だが、「一般型特定施設」へ転換した場合、福祉用具は施設で提供しなければならない。ベッド・車イス・シルバーカーなど、利用者の QOL(quality of life 生活の質、より良い生活)に直結する物が多いことから、利用者の生活の質を低下させないよう対応する。

- ① 利用者の QOL に配慮し、スムーズに各種機器等の新規購入やリース契約を実施する。

## 3. 年間事業計画

月	管 理 関 係	委 託 関 係
4	前年度事業報告作成 委託業務契約	非常通報装置点検 電気設備点検(自家用電気工作物保安管理) グリストラップ汲み取り(以降毎月 1 回)

月	管 理 関 係	委 託 関 係
5	利用者健康診断 入所者生活状況報告	害虫駆除消毒、厨房排水溝清掃、貯水槽清掃 蟻駆除薬剤散布、貯油槽点検清掃、水質検査
6		特別清掃(窓拭き・網戸・床ワックス) ピット内配管保守点検、ボイラ定期点検 電気設備点検、空調機器清掃点検 排水管吸引清掃、貯油槽点検清掃
7	職員健康診断、避難訓練	非常通報装置点検
8		換気扇清掃(トイレ等) 電気設備点検
9		消防用設備点検 ボイラ定期・特別点検 排水管清掃
10	利用者健康診断 新年度予算要望作成	厨房排水溝清掃、非常通報装置点検 電気設備点検
11	避難訓練(地元分団との合同訓練) インフルエンザ予防接種	貯水槽水質検査、レジオネラ属菌水質検査 厨房器具点検、浄化槽汲み取り 昆虫防除、特別清掃(窓拭き・床ワックス) ねずみ・衛生害虫駆除、居室換気扇清掃
12		ボイラ定期点検 電気設備点検 排水管吸引清掃
1	新年度予算書作成 自己申告書、力量評価	非常通報装置点検 敷地内除雪
2	新年度事業計画・部門目標作成	電気設備点検、敷地内除雪 厨房フード換気扇清掃、給風機洗浄清掃 浴室カビ取り清掃
3	夜勤者対象健康診断 入所者状況調査	ボイラ定期点検、敷地内除雪 浄化槽清掃汲取、排水管清掃 入浴リフト保守点検

#### 4. 年間研修計画

月	内部研修	外部 研 修		
		施設長・相談員 計画作成担当・事務	看護師 栄養士・介護員	サービス提供責任者 訪問介護員
4	全職種対象	老人福祉施設協議会総会 県北老連協総会		

月	内部研修	外部研修		
5	身体拘束・認知症ケア研修		老人福祉施設新任職員研修	生活支援技術研修
6	感染症研修①			
7	救急対応研修 振り返り研修	施設等相談援助職員中堅研修		
8	コミュニケーションの理解	県北老人福祉施設長研修		
9			給食担当職員研修	
10	介護過程の理解		接遇関連研修 高齢者レクリエーションセミナー	
11	感染症研修②	県北地区相談員部会研修 県北地区老人福祉施設・在宅・包括職員研修会		
12	振り返り研修		施設等看護職員研修 養護・軽費・ケアハウス研修	
1	サービス管理とリスク管理	県北地区老連協研修会	認知症初任者ケア研修	
2		福祉保健施設長研修	介護記録研修	
3			養護老人ホーム職員研修	

## 5. 年間給食計画

毎月	行事	食事内容	会議	
	喫茶 バイキング	飲み物、お好み食	栄養委員会 委託業者との打ち合せ	
月	行事	食事内容	栄養指導	その他
5	鍋っこ昼食会	行事食		
6			栄養教室	
7	七夕	行事食		嗜好調査
8	夏祭り	行事食		
9	秋彼岸	おはぎ		
	成章園敬老会	行事食		
11	お楽しみ昼食会		栄養教室	
12	クリスマス	行事食		
	年越し	そば		
1	新年会	行事食		
2	節分	行事食		
3	ひな祭り	行事食		

## 6. 年間行事計画

担当	実施月	行事内容
行事委員会 〔事業Ⅰ〕	5月	お出かけ会(花見等)
	9月	成章園敬老会
	1月	新年会
	5、8、2月	遊びりテーション企画・実施
	6、9、12、3月	集会室壁画
〔事業Ⅱ〕	6月	成章園クラブ発表会と地域交流会
	7月	七夕飾りつけ
	9月・3月	念佛数珠廻し(春・秋)
	2月	節分豆まき
	4、7、10、11、12、3月	遊びりテーション企画・実施
	5、8、11、2月	集会室壁画
〔事業Ⅲ〕	8月	成章園夏まつり
	12月・3月	クリスマスツリー飾りつけ・ひな祭り
	10月	お出かけ会(紅葉等)
	6、9、1月	遊びりテーション企画・実施

担当	実施月	行事内容
事務	4、7、10、1月	集会室壁画
	毎月	定例会
	偶数月	福寿会
	6月、11月	成章小学校4年生校外学習訪問
	7月、11月	にぎやか音楽会
	8月	お盆（二十日盆）の法要 白百合ホーム児童との交流会
	10月	大館男声合唱団訪問演奏会
	12月	森のおうち交流会
	毎月第1、第3週	買物代行
支援	毎月2回	ボータブルトイレ消毒
	毎月1回	感染症対策、シーツ交換、トイレ用カーテン交換
	毎月2回	食堂テーブル・イス・冷蔵庫清掃、加湿器清掃（10月～5月）
	毎週1回	寺子屋
	毎月	喫茶・昼食バイキング、おやつ作り（栄養委員会と合同）
栄養	右行事担当	夏祭り、敬老会、地域交流会、新年会
	5月	鍋っこ昼食会
	11月	お楽しみ昼食会
	6、11月	栄養教室
	7月	嗜好調査（調査項目の検討、集計、評価、周知）
看護	毎月1回	体重測定（身長測定4月）
	毎月第2月曜	嘱託医診察
	5、10月	利用者検診
	5、7、2月	健康教室
	11月	インフルエンザ予防接種

## 7. 各種委員会・クラブ活動

委員会名	目的・内容
運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部門代表者で構成し、施設運営・管理</li> <li>・サービスの質に係る課題の共有と改善</li> <li>・顧客満足度の向上に向けた取組</li> <li>・利用者の介護申請、他施設入所等に関する確認及び検討</li> <li>・苦情相談、ヒヤリハット、介護事故報告の内容を検証し、再発防止や予防対策の立案と効果の確認を行い、施設運営に反映</li> <li>・職員教育に係る課題の共有と改善</li> </ul>
感染症対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症及び食中毒の予防及びまん延防止策の検討、備品の維持管理</li> <li>・本部の同委員会からの伝達事項の確認、周知</li> </ul>
行事委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の円滑な運営を目的として、行事計画書の作成、準備、指揮、実施後の検証</li> </ul>
排泄委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄に関する支援内容や関連用品等の検討及び管理</li> <li>・排泄用具の定期点検、使用状況の確認、衛生管理</li> </ul>
入浴委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個浴に関する支援内容や援助技術の確認、検討。</li> <li>・入浴用品の定期点検、メンテナンス、衛生管理</li> <li>・レジオネラ対策自主点検(月1回)</li> </ul>
栄養委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の栄養に関する検討(食事内容、環境・設備等)</li> <li>・口腔ケア・水分摂取に関する検討、実施、検証</li> <li>・食品や食器類等の安全衛生に関する検討</li> <li>・誕生日カードの作成、嗜好調査等の計画と実施</li> <li>・食事を通じた生きがい活動の検討</li> </ul>

クラブ名	目的・内容
民謡クラブ	月1回 野呂義子氏を講師に招き、三味線・太鼓の伴奏でうたう。 「参加型で民謡の良さを感じ、他にも、いろいろな曲も楽しめるようにする。」
生け花クラブ	「行事に合わせて花を生ける」 季節の花や、園庭・花壇で育てた花を生けたり、鑑賞したり、利用者みんなの楽しみが増えるようにする。
籐工芸クラブ	月1回 安藤登喜子氏を講師に招き、籐小物の作品を作る。 「作品を展示することで具体的な目標とやりがいを持つ」
健康体操クラブ	月2回 船木和子氏を講師に招き、道具や音楽を取り入れた高齢者向け体操を行なう。

クラブ名	目的・内容
おひさまクラブ	「みんなで作って、皆へ振舞う」参加型を目指し、利用者個人にあった「できる事」を探し、職員と一緒に、作物を作る喜び、収穫物を食する楽しみを創る。

## 8. 消防計画自主検査・点検及び委託検査任務分担表

### (1)自主検査任務分担表

区分	検査対象	実施日	検査実施者
建築物、電気設備等	電気配線（全施設） 非常口、窓・ドアの開閉 電気機器	毎月 1回	介護員
火気使用設備等	ストーブ(電気・石油) 吸殻入れ、電磁調理器	毎月 1回	管理栄養士
	ガスコンロ（調理場）		
燃料、危険物等	ボイラー、プロパンガス 灯油貯蔵所		防火管理者

### (2)自主点検任務分担表

区分	点検・整備の対象	実施月日	検査実施者
消防器具等	消火器、屋内消火栓		
警報、避難設備等	火災報知設備、救助担架 車椅子、誘導灯・標識等 非常通報装置、非常放送 設備、防火扉	避難訓練 実施日 (年 2回)	防火管理者

### (3)委託検査

区分	点検・整備の対象	実施月日	検査実施者
消防用設備等	火災報知設備 火災感知器 漏電火災警報設備 非常放送設備 非常通報装置	年 2回 3ヶ月に 1回	資格を有する業者 に委託して実施す る

# 平成 30 年度 大館市特別養護老人ホームつくし苑 事業計画

## 1. 運営方針

今回の介護報酬改定では、介護老人福祉施設についてはプラス改定となったものの、施設を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。

つくし苑では、各加算の取得に向けた体制を整備するとともに、業務改革の推進による時間外勤務の削減、消耗品購入に係る見直しなど、明確な改善目標を定め、安定した施設運営に計画的に取り組んでいく。

平成 29 年度は医務の棟配置体制の整備に施設として取り組み、施設看護師の恒常的な長時間労働の解消に一定の効果が見られた。今年度は、一年の準備期間を経て進めてきた介護職員の 8 時間夜勤体制を実現し、夜間の長時間労働の解消と安全な利用者ケアを実践するための勤務体制の見直しに取り組む。

平成 30 年度はショートステイの特養転換(10 床)を予定していることから、それらを見据え、計画的に移行準備を進めていく。

また、施設での看取りの増加や入所者の高い医療ニーズに対応していくためには、施設と医療機関の連携体制の整備は急務であるが、医師不足や周辺医療機関の診療体制の縮小など地域が抱える課題に対し、今後施設としてどのように協力体制を構築していくかが重要となる。

入所者の状態像や家族、地域のニーズの変化に柔軟に対応しながら、地域の中核となる施設として成長しつづけられるよう、職員一丸となり取り組んでいく。

## 2. サービス事業計画

### (1) 部門活動

#### 【相談部門】

##### 1. 重点目標

(1) 施設の看取りケアの実践についてご家族との相互理解に努める。

- ① 施設の看取り介護の実践についてご家族に向けて報告会を実施する。
- ② 他部門との連携強化により、利用者の状態観察と把握に努め、家族との適時適切な情報提供と家族支援を実施する。

(2) 入所相談員の業務内容を整理し、効率化を図る。

- ① 入所相談員の業務内容をマニュアル化する。
- ② 既存のマニュアルについて効率的に業務を進める事ができるよう見直しする。

(3) 部門内外との密な連携により安定したベッドコントロールに努める。

- ① 退所後の速やかな入所の調整
- ② 入院先の医療機関との密な情報交換によるスムーズな退院調整

- (4) 平成 31 年度の増床に向けた準備と体制の確認を行う。
  - ① 平成 31 年度の増床へのスムーズな移行のための準備
  - ② 増床により必要となる体制の確認
  - ③ 入所待機者の実態把握と整理
- (5) 相談援助職としてスキルアップを図る。
  - ① 部門内でのスーパービジョン研修を継続し、より有効なものとなるよう取り組む

## 【介護部門】

### 1. 重点目標

- (1) 利用者の尊厳と安全を守り、利用者本位のケア実践のための改善活動に取り組む
  - ① 入浴の事故を未然に防ぐよう安全で快適な入浴ケアの提供
  - ② 他職種と連携した安全に食事を楽しめる環境の整備
  - ③ リスクに配慮した生活環境の整備、及び、利用者の身だしなみの徹底
  - ④ 一人ひとりに寄り添い自己決定を促すことができる職員の接遇マナーの徹底
- (2) 介護専門職として現場における実践力とチーム力の向上を目指す
  - ① 内部・外部研修の参加による、実践に即した専門的知識やスキルの向上
  - ② 部門内の内部コミュニケーションを強化し、各棟における課題等を共有し、部門内の仕組み等の改善に努める。
  - ③ 8 時間夜勤実施に伴い、業務の調整を図り、チーム力を高める。

## 【機能訓練部門】

### 1. 重点目標

- (1) 寝たきり利用者の離床率の向上を図る。

前年度に引き続き、離床頻度の少ない寝たきりの利用者を対象とし、利用者が興味をもって選択できるメニューを構築し、離床の機会を増やしていく。

また、実施後の効果を確認し、利用者個々のニーズにそった内容の見直しを行なっていく。

## 【栄養部門】

### 1. 重点目標

- (1) 多職種との連携による経口摂取維持の取組み
- 利用者のなかには、認知機能や摂食嚥下機能の低下により、経口での食事摂取が困難となり、誤嚥等のリスクも生じている。経口摂取の維持のために多職種が協働し、各ご利用者の食事形態・食事姿勢・介助方法等を検討することで、

できるだけ口からの食事摂取が維持できるように支援する

## (2) 高齢者向けに塩分調整された食事の提供

健康秋田21では平成34年までに成人の食塩摂取量を8.0gにすることを目指しています。高齢になると味覚が老化して、味を判断する機能が低下し、塩分を取り過ぎてしまいます。塩分調整しつつ満足できる食事の提供を目指す。

## 【事務部門】

### 1. 重点目標

#### (1) 消耗品の購入方法の見直しを図る。

事務部門では、ISO部門目標の活動として、消耗品管理にかかる手順の統一を取り組んだ。取り組みの過程で、事務・医務・介護の各部門の消耗品の在庫数量、発注数量を把握したところ、年間取引高が大きい消耗品の存在が明らかとなつた。

年間取引高が多い消耗品の購入方法を見直す(入札、厳格な見積もり合せ等の実施)ことで、事務費、事業費、それぞれの消耗品購入単価圧縮に努め、その結果を適切な予算管理、予算執行へと繋げていく。

## 【医務部門】

### 1. 重点目標

- (1) 利用者の日々の生活に寄り添い、健康観察の強化と体調管理を徹底する為、施設看護師が専門性をより発揮できる体制を整備する。
  - ① 新体制移行に伴う業務マニュアルの見直しを行う。
  - ② 他職種との効果的な連携と協力体制に係わる課題を探り解決する。
- (2) 嘴託医や他職種と連携し、医療専門職としての視点から、利用者の看取りケアと家族支援の強化に取り組む。
- (3) 施設内の感染症予防に主体的に取り組み、感染症発生時は感染症予防対策委員会と連携し、迅速かつ的確な対応に努め、感染拡大の防止に努める。

## 【指定短期入所生活介護事業所】

### 1. 重点目標

- (1) 事業所内外との密な連携を図り、安定したベッドコントロールに努める。
  - ① ホームページ等の活用による他事業所への空床の照会
  - ② 入所者の入退院、入退所による空床の把握、空きベッドの活用
- (2) 多職種で協働し、個別ニーズに応じたサービスを提供する。
  - ① カンファレンスを開催し、各職種の役割を明確にした上でサービスの提供
  - ② 個別サービス、利用者情報の伝達システムの構築によるチームケアの向上

- ③ 個別援助計画に基づいたサービスの提供とモニタリングの実施
- (3) 他部門の役割を明確にし、ショートステイ相談員の業務内容の整理、効率化を図る。
  - ① 他職種の役割の確認とショート相談員業務の整理
  - ② 業務マニュアルの見直し
- (4) 平成 31 年度のショートステイ床の一部特養転換に向けた移行準備

## (2) 委員会活動

### 【運営委員会】

#### 1. 重点目標

- (1) 安定した施設経営と安全で確実な利用者ケアに取り組む。
  - ① 介護報酬改定に伴う加算取得に向けた体制の整備
  - ② 業務改革の推進、及び、各種マニュアルの整備
  - ③ 平成 31 年度ショートステイの特養転換(10 床)に向けた移行準備
  - ④ 医務の時間外勤務の適減、及び、会議のスリム化
- (2) 働きやすい職場環境と職員のモチベーション支援に取り組む。
  - ① 介護職員の夜間長時間労働の見直し(8 時間夜勤体制への移行)
  - ② ストレスチェックの実施結果を踏まえ、ステップ 1~3 職員へのフォローアップ体制の整備

### 【つくし苑感染症予防対策委員会】

#### 1. 重点目標

- (1) 平常時の感染症予防対策が施設内に浸透し、確実な実践に取り組む。
  - ① つくし苑感染マニュアルを見直し、より実践的効果的な手順書を整備する。
  - ② 医療機関退院時には利用者の感染情報(ESBL・緑膿菌等)を確実に収集し、施設内の共有と速やかな対策を講じる。
  - ③ 保健係と連携し、現場レベルでの具体的な予防対策を整備する。
  - ④ 職員が感染予防に係る基礎知識を習得し、実践力を身につけられるよう教育訓練の機会を設け支援する。
- (2) 感染症発生時の拡大防止と早期収束に取り組む。
  - ① 嘴託医や関係行政機関との連携を図り、発症者への迅速で的確な対応と拡大防止策の実施を周知徹底する。
  - ② 感染症発生後の発症動向に応じて、拡大防止策の強化を図る。
  - ③ 感染症発生時は、委託職員や法人内事業所へも迅速に通知し、拡大防止のための必要な措置を講じる。

## 【介護技術向上委員会】

### 1. 重点目標

#### (1) 根拠に基づく介護技術の習得と技術の現場展開

施設内における根拠ある安全な介護技術の習得を目的とした、現場への伝達と展開の仕組みを構築する。(モデルケースを選定し、自ら考え分析する力と技術の習得を図る)

また、日常の実践の継続と振り返りを通し、現場における実践リーダーの育成を図る。

#### (2) 事故、怪我防止として高リスク者のケア内容の見直しを行う。

昨年度、入所者全員の骨折既往、骨粗鬆症の有無をデータ化し、個別のリスクを把握した。しかし各棟へは情報提供のみにとどまっており、今年度は高リスク者のケア内容の見直しとして、事故や怪我が発生しやすい移乗方法についてリスクを共有し、現場レベルで検討の機会を設け、安全で適切な介護技術を現場へフィードバックしていく。

## 【栄養委員会】

### 1. 重点目標

#### (1) 利用者の口腔内の健康維持と歯科衛生士による口腔ケア指導の充実

##### ① 経口維持加算(Ⅰ)の実施、継続

- ・多職種連携による摂食スクリーニングやカンファレンスの開催の継続

##### ② 歯科衛生士による口腔ケア指導の継続

- ・介護員への指導内容の周知徹底、対象者の口腔ケアに対する効果の判定の実施

#### (2) 歯科衛生士による口腔ケア研修の実施

##### ① 歯科衛生士から口腔ケアの手技を学ぶ。

- ・介護員の口腔ケアに対する不安を取り除き、口腔ケアの技術向上を目指す。

##### ② 口腔ケアの重要性を理解する。

- ・口から食べる事の楽しみが得られる事への介護員の理解と、口腔内の健康が保たれる事の重要性を学ぶ。

## 【排泄ケア向上委員会】

### 1. 重点目標

利用者の排泄機能の向上を目的とした支援の実現のための体制作り

##### ① 利用者の排泄状況の把握

- ・トイレの使用状況の把握

- ・オムツ・パッド等の排泄用具の使用状況の把握(パッドのフィッティングを含む)
  - ・排泄に関する介助の度合い(自立・見守り・一部介助・全介助)の把握
- ② 排泄に介護を要する利用者を対象として、多職種が協働しての支援の実施に向けた体制作り
- ・排泄に介護を要する利用者の原因等の分析方法(アセスメントツールの活用等を含む)の検討
  - ・排泄ケアに係るマネジメント(アセスメント、多職種協働による支援計画の立案、ケアの実施、評価)プロセスと施設ケアプランとの連動
- ③ 排泄ケア場面で考えられる課題の抽出とその改善
- ・居室、トイレの環境改善
  - ・排泄を手助けできるような福祉用具の使用の検討

## 【部門間連携委員会】

### 1. 重点目標

- (1) つくし苑における他職種との情報共有と協働体制の維持を図る。
- ① 施設内における課題を分析し、具体的な改善案を話し合う。
  - ② 他部門との連携や調整を行うと共に部門間での情報共有を行う。
- (2) 利用者の情報が各部門で共有できる体制を整備する。
- ① 生活情報(排便・水分量・排尿・食事・バイタル等)のパソコン管理を目指す。
  - ② 利用者情報の包括管理の実施状況の把握、及び、不具合の解消。
- (3) 介護の8時間夜勤体制を確立する。
- ① 体制変更により生じる各部門の業務調整や日課の擦り合わせをする。
  - ② 各部門の取り組みの進捗状況の把握、及び、密な情報共有を行う。
  - ③ 実施後の評価を行ない、そこから問題を発見し、課題を抽出する。
  - ④ 業務内容の改善を継続的に実施する。

## 【医療的ケア対策推進委員会】

### 1. 重点目標

- (1) 褥瘡の予防機能を強化する。
- ・ブレーデンスケールの活用状況を確認し、適宜修正を行う。
  - ・体位変換表の活用性の検証を行う。
  - ・褥瘡予防の基本知識と技術を身に付けるための内部研修を行う。
- (2) 看護職員と介護職員の連携による喀痰吸引等の医療行為が、一定の水準を保

ち安全に実施できるように施設内の研修を実施する。

- (3) 実技指導や実地研修など指導看護師による適時効果的な施設内でのサポート体制により、介護職員の「特定行為従事者」の取得を支援する。

## 【認知症ケア推進委員会】

### 1. 重点目標

- (1) 認知症ケアの継続的な取り組みの実現に向けた体制整備  
① 認知症介護リーダー研修へ参加し、認知症ケアの推進役となる実践リーダーの育成をする。
- (2) 認知症ケアに係る質の向上への取り組みの実施  
① 前年度に引き続き、個別援助計画書を基にしたケアの実践。ケースカンファレンスの開催による評価、個別ケアの検討、振り返りによる「気づき」を促進し、現場の職員を巻き込みながら認知症ケアを展開していく。  
② 認知症ケアに係る外部研修に積極的に参加し、認知症高齢者を支援するための知識や方法、技術を学び、実践力を高める。  
③ 認知症ケアに係る内部研修を実施し、職員全体の認知症高齢者を支援するための知識や技術を学び、質の向上をはかる。

### 3. 行事計画

月	行事名	その他(希望参加) ※大相撲、音楽クラブ(リハスタッフ)
4	外出(お花見)	毎月第2(水)音楽クラブ
5	外出(ドライブ・外食・買い物)	大相撲星取り大会(夏)
	おやつ作り	
6	肉博・魚博	
	外出(ドライブ・外食・買い物)	
7	利用者検診(医務)	大相撲星取り大会(名古屋)
	外出(康楽館芝居見学・古里探訪・外食)	
	遊びリテーション&茶話会	
8	つくし苑・ほうとう合同夏祭り	
	外出(ひない灯篭流しと花火見学)	
	おやつ作り	
9	利用者結核検診(医務)	大相撲星取り大会(秋)
	つくし苑敬老会	

月	行事名	その他(希望参加) ※大相撲、音楽クラブ(リハスタッフ)
	遊びリテーション&茶話会	
	成章小学校発表会予行見学	
10	外出(きりたんぽ祭り)	
	きりたんぽ作り	
11	インフルエンザ予防接種(医務)	大相撲星取り大会(九州)
	外出(ドライブ・外食・買い物)	
	遊びリテーション&茶話会	
12	おやつ作り(もち)	
	年忘れ&クリスマス会	
1	新年会	大相撲星取り大会(初)
	イルミネーション見学	
2	節分(豆まき)	
	おやつ作り	
	遊びリテーション&茶話会	
3	ひなまつり	大相撲星取り大会(春)
	だまっこ作り	

※毎月、賀寿祝いの対象者の誕生日に個別にお祝いを行なう。担当は利用者担当職員。

#### 4. 委託業務計画

委託業務名	業務内容
給食調理業務	栄養管理、調理作業管理、調理・盛付・配膳・下膳 給食材料の調達、保管、出納管理 厨房設備、調理器具・食器の保守管理 従事する職員の業務管理(衛生管理含む) 給食材料、調理器具、食器等の衛生管理 保存食の確保 直接納入業者に対する衛生管理の指示
厨房機器保守点検	年2回(4、9月) 厨房機器・器具の機能作動点検及び修理

委託業務名	業務内容
清掃業務	日常清掃（館内及びトイレ清掃、ゴミ収集、浴室清掃） 定期清掃(ワックス掛け・ガラス・網戸他) ねずみ害虫防駆除点検 年4回(5、8、11、2月) 空調機器清掃(換気扇・エアコンフィルター他)
塵芥収集運搬業務	毎週月～金曜日の収集運搬及び処理
生ゴミ収集運搬業務	毎週月～金曜日の収集運搬及び処理
廃プラ収集運搬業務	随時
感染性廃棄物運搬業務	月1回
感染性廃棄物処分業務	月1回
浄化槽保守管理業務	定期巡回、水質検査(月2回) 余剰汚泥処理、滅菌、油脂汲取(年1回)
グリストラップ汲取り業務	グリストラップ汲取り業務(月1回) 廃油汲取り業務(随時)
宿日直業務	全日～夜間、土・日・祝祭日～日中 施設の巡回、監視、消灯、施錠、火気等の安全確認 文書及び物品の收受、保管 電話応対、来訪者の対応
除雪業務	スノーポールの設置及び撤去 駐車場及び通路の除雪(10cm以上の降雪時)
屋内外配管保守点検業務	給水加圧装置の保守管理 給湯ラインポンプ、屋内外配管の保守管理 作業後の報告書の提出
空調設備保守点検業務	温水器(真空ヒーター)清掃整備 空調機関連機器清掃、保守
非常通報装置保守点検業務	自動火災報知設備、漏電設備、非常放送設備 火災通報装置、誘導灯設備保守点検
スプリンクラー設備保守点検業務	加圧装置、自動起動装置、ポンプ操作盤、スプリンクラーヘッド、補助散水栓、流水検知装置、送水口呼水装置、常用電源点検
地下油槽清掃漏洩検査業務	油槽、埋設管の漏洩検査 灯油槽及びサービスタンクのクリーニング
電気工作物保安管理業務	経済産業省令に基づく、月次点検(隔月) 事故発生時の電気事業法106条に基づく手続の指導 電気事業法107条に基づく立ち入り検査の立会い

委託業務名	業務内容
受水槽保守管理業務	清掃、消毒、外観点検、水質検査
空気浄化機保守点検業務	定期保守メンテナンス(年1回 8月) 機能点検(各フィルター及び紫外線ランプ交換、他) 外観点検(スイッチ点検、ボディ清掃 他)
自動ドア保守点検業務	引分型自動ドア装置 4台(年4回点検) 片引型自動ドア装置 1台(年4回点検)
ソフトウェア保守業務	介護保険、入所処遇、会計、給与、給食システム ネットワーク保守
コピー機保守管理業務	担当者の定期派遣により保守管理
洗濯業務	利用者の衣類の洗濯、整理 (日曜日のみ委託)

## 5. 年間管理運営計画（在宅事業所を含む）

月	管理関係	委託関係
4	・委託業務契約 ・消防避難訓練 ・指定管理事業報告(毎月) ・ISO 部門目標活動報告会	・水質検査 ・煤煙測定 ・自動ドア保守点検① ・LPガス保守点検 ・厨房機器、器具保守点検① ・浄化槽保守点検(以降毎月点検) ・電気設備保守点検(以降2ヶ月ごとの点検)
5	・前年度事業報告、決算書作成	・ガラス清掃 ・施設内ワックス掛け ・厨房害虫駆除 ・鼠、害虫駆除① ・空調機器、換気扇清掃 ・浄化槽法定検査
6		・空調設備保守点検 ・地下油槽清掃漏洩検査
7	・職員健康診断 ・利用者健康診断	・計量器定期検査 ・自動ドア保守点検② ・施設内ワックス掛け
8		・空気浄化機保守点検 ・ガラス清掃

月	管理関係	委託関係
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防設備点検</li> <li>・鼠、害虫駆除②</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者健康診断(結核検査)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガラス清掃</li> <li>・空調設備保守点検</li> <li>・厨房機器、器具保守点検②</li> <li>・施設内ワックス掛け</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度工事修繕関係市要望書作成提出</li> <li>・消防避難訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・煤煙測定</li> <li>・簡易専用水道検査</li> <li>・自動ドア保守点検③</li> <li>・電気設備年次点検(停電)</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ予防接種</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貯水槽清掃、保守点検</li> <li>・浴室洗浄消毒</li> <li>・厨房害虫駆除③</li> <li>・施設内ワックス掛け</li> <li>・レジオネラ菌水質検査</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客満足度調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場除雪(～3月)</li> </ul>
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内ワックス掛け</li> <li>・自動ドア保守点検④</li> <li>・居室カーテンクリーニング</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度事業計画書案作成</li> <li>・次年度資金収支予算案作成</li> <li>・力量評価、フィードバック面接実施</li> <li>・消防避難訓練(職員のみ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常通報装置保守点検</li> <li>・屋内スプリンクラー、消火栓設備保守点検</li> <li>・屋内給排水設備保守点検</li> <li>・厨房害虫駆除④</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員健康診断(夜勤者)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調機器清掃(厨房内)</li> <li>・施設内ワックス掛け</li> </ul>

## 6. 研修計画

内部研修	外部研修
(1)感染症研修 年2回 ①感染症に関する知識習得 ②感染症発生時の対応(吐物処理等)  (2)医療的ケア研修 年1回	(1)介護職員医療的ケア(経管栄養・痰吸引等)に関する研修  (2)認知症ケア実践リーダー研修

内部研修	外部研修
<p>経管栄養や痰吸引等の医療的ケアに係る知識と技術の習得</p> <p>(3)部門、委員会主催の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①栄養委員会</li> <li>②認知症ケア推進委員会</li> <li>③医療的ケア(褥瘡予防対策)</li> </ul> <p>(4)介護技術研修 (ナーシングバイオメカニクス初級研修)</p> <p>(5)部門内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパービジョン研修(相談:毎月)</li> </ul> <p>(6)その他:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・権利擁護(高齢者虐待)に関する研修</li> </ul>	<p>(3)認知症介護実践者研修</p> <p>(4)介護福祉士実習指導者研修</p> <p>(5)その他の研修 加入団体主催の研修等 (相談員研修等)</p>

# 平成 30 年度 大館市デイサービスセンター大滝 事業計画

## 1. 運営方針

今回の介護報酬改正では、大規模事業所の通所介護費の引き下げ、要介護度の維持改善としてリハビリや役割づくり等元気でいられる利用者が一定割合となることで加算等の報酬が見込まれるものとなった。

また、これまで中重度の要介護者の受け入れ体制を整え実施してきたが、平成 29 年度の実績は中重度受け入れ要件を満たせず、平成 30 年度は加算算定が見込めないこととなり、平成 30 年度においても厳しい事業運営となる。

平成 29 年度に取り組んだ「運動機能向上加算」の継続と共に身体機能維持・向上に向けて、より専門性の高いサービス体制を整えたい。また平成 28 年度に、組織内のチームワークの向上を図るべく学んだ「組織のあり方」「連携の方法」「自己の感情のコントロール」の振り返り研修・通年で実施している「接遇」研修を行いより一層の連携の向上を図りたい。

平成 29 年度の顧客満足度調査からは、概ね高い評価を頂き感謝や労いの言葉が多く記載されたが、中には援助に対する率直な意見や、アドバイス等の記載もあり、その一つ一つを課題として取り上げ検討していくこととした。

引き続き、利用者の自己決定をこれまで以上に尊重し、自分らしく元気に過ごし楽しみを持ちながら利用できるデイサービスとなるよう、職員一同が協力してサービスを提供する。あわせて専門職として根拠に基づいた専門的な知識を活かしたサービス提供ができるよう努める。

## 2. 重点目標

「デイサービス内で役割を持って活動する利用者が増える」

平成 29 年度は、デイサービスでの過ごし方として、午前・午後共にあらかじめ設定した活動の中から利用者が選択する形で利用者が主体的に活動に参加している。しかし、利用者自身が出来ることに対しても、安全性を優先してしまい、過剰な手伝いを職員側で行っている現状にもある。現在の集団的な過ごし方から利用者が役割を持ち「誰かの役に立つ」「ありがとう」と言ってもらえる環境を作り、利用者が楽しみを持ちながら笑顔で生き生きと過ごしていくことを目的として、一つひとつの事例から役割を持って活動できるまでの一連の流れを職員で共有した。平成 30 年度も引き続き、作成した流れに沿って多くの利用者の方が役割を持って活動し、そうした利用者が増えるという目標達成に向けて取り組む。

### 3. 年間行事計画

月	行 事 名	
4	外出レク(観桜)	
5	外出レク(買い物)	
6	外出レク(買い物)	十二所保育園交流会
7	外出レク(買い物)	
8	夏まつり	
9	敬老会	
10	だまっこ鍋作り 外出レク(紅葉)	
11		森のおうち交流会
12	クリスマス会	十二所保育園交流会
1	正月を楽しもう	
2		2/3 節分
3	デイオリンピック	

### 4. 年間研修計画（会議計画含む）

月	研 修	会議計画他
4	・職員間で連携を図る 「自己の感情のコントロール」について	担当業務の会議(年間計画作成) リーダー会議(H30 年度の進め方)
5	「連携の方法」について	担当業務の進捗状況の確認(毎月)
6	「チームワーク・組織」について	
7	・接遇について	事業実績の確認
10		事業実績の確認 顧客満足度調査の検討
11	・感染症について(マニュアルの確認と 実技)	リーダー会議(事業計画について)
12		来年度研修計画、来年度事業計画及び予 算計画の検討
1		事業実績の確認 顧客満足度調査の結果確認
3		年度のまとめ(事業報告内容)

# 平成 30 年度 大館市社会福祉事業団ホームヘルパーステーション 事業計画

## 1. 運営方針

ヘルパーステーションは、近年増加している認知症状をかかえる高齢者に関する理解をさらに深めたい。住み慣れた地域で安心し、自己決定に基づいてその人らしく生活できるよう職員一同地域と密着した関係づくりを意識して職務に取り組む。

しかし、原則として1名のホームヘルパーが自宅に赴いて提供するというサービスの特性上、ホームヘルパー個々の力量とサービスの標準化に課題もあり、体系的なサービスが提供できるよう、引き続きスキルアップを目標に取り組む。

在宅で暮らしている利用者は、地域にも支えられている。平成 29 年度からは、要支援者について現行の介護予防給付による訪問介護サービスが段階的に地域支援事業に移行となり、平成 30 年度には完全に地域支援事業となることとなった。地域に根差し、利用者が住み慣れた自宅で暮らしていくよう、また「終の棲家」として安心を届けるとともに充実した毎日を送ることができるようサービス提供に努める。

## 2. 重点目標

『危険予知・原因分析・再発防止』を学ぶ ~前年度に引き続き~

平成 29 年度から取り組んできたが、目標達成には至っておらず、平成 30 年度も取り組んでいきたい。訪問した際の利用者の様子に気づき、あるいは不適合サービスなどが発生した際、ヘルパー同士での話合いだけで共有して終わりがちとなっていたことで、再発防止などの具体的な是正処置を講じるまでにはなかなか至らない状況があった。『危険予知・原因分析・再発防止』を一つ一つ学ぶことで気づきのレベルアップを図られ、結果として事故や苦情などの不適合も減らすことがつながっていくのではないかと期待する。

## 3. 年間研修計画

- ※ 事業所内部で企画する研修内容であり、事業団合同で実施する計画を除く。
- ※ 重点目標に関連する研修は、随時状況を見ながら追加開催あり。
- ※ 「研修目標管理票」にて、経験年数や能力に応じた個別の研修計画を自ら立案、取り組む。年度末に評価をする。

月	外部研修	内部研修
4	福祉有償運送運転者講習	・マニュアルの見直し ・介護保険改正について
5		・危険予知・原因分析・再発防止を学ぶ①～事

月	外部研修	内部研修
		例検討
6	同行援護従業者養成研修	・接遇について 信頼とコミュニケーションが深まる接遇
7		・危険予知・原因分析・再発防止を学ぶ①～事例検討
8		・援助中のあいまいゾーンの対処方法を知る ヘルパーがやっても良いこと？
9		・利用者の疾病を知る① 糖尿病の症状・運動療法・食事療法等
10	同行援護従業者養成研修	・調理実習① 糖尿病に留意した調理
11		・認知症ケア～病気を知り不安無く援助できる ようになる(行動・言動・食事など)
12		・感染症の対応
1		・倫理法令遵守
2		・救急救命
3		・利用者の疾病を知る② 統合失調の行動・言動・メンタルヘルス等

# 平成 30 年度 指定居宅介護支援事業所おおたき 事業計画

## 1. 運営方針

平成 30 年 4 月 1 日より介護保険制度の改正ならびに介護報酬の改定が行なわれる。居宅介護支援においては、ケアマネジメントプロセスの簡素化、頻回な利用者の状態変化等の把握等に対する評価が創設されることとなった。具体的には、ターミナル期の利用者について、主治医の助言を得ることを前提として、必要なサービスを導入する際のサービス担当者会議開催を不要とするなど、ケアマネジメントプロセスの簡素化を図ること、また、状況把握を行なった結果を医師や関係事業所に伝えるなど、ケアマネジャーと主治医、関係機関と連携することの必要性や重要性が求められることとなった。そのため、居宅介護支援事業所においては、看取りに関する研修を計画し、医療連携に関するケアマネジメントの強化を図る。

ほか、利用者一人ひとりが住み慣れた地域で安心していくためには、介護支援専門員によるケアマネジメントの質の向上と公正中立性の確保、地域共生社会の実現に向けた取り組みが求められる。地域包括支援センターが開催する包括・居宅連絡会に出席し情報共有や連携を図り、また、「大館市在宅医療・介護連携推進協議会」や「大館市居宅介護支援事業所連絡会」への参加、その他の研修会等への参加により、最新の情報を収集しながら職員間で共有し、質の高いケアマネジメントの提供へと繋げたい。

## 2. 重点目標

### (1)「会議参加者の満足度を向上させる」

ケアプランの目標を共有する場である「サービス担当者会議」の実施については、介護支援専門員によってどのように進めていけばいいのか悩んでいる状況から、平成 29 年度より同目標を設定し取り組んでいる。

アンケートを用いた状況把握を行なうことにより、予測以上に状況把握の期間を要したことから、引き続き平成 30 年度においても取り組みを継続する。利用者本人を含め、関わりを持つ人たちが同じ目標を持ち、その目標の達成に向かって協働できるよう、会議進行についてのスキルアップを図る。

### (2)「事例検討会の開催」

利用者の状態変化や課題や問題などの出現、また、そのマネジメントの仕方についてケアマネジャーが抱える悩みを解消するために事例検討が用いられる。

事例検討により、支援の方向性を具体的に検討することができ、また、ケアマネジャー自身のケース対応の特徴を客観的に確認し、その認識を重ねながら、各々の分析力や判断力の向上を目指す。

### 3. 年間研修計画

※法人で実施する計画を除く。事業所内部で企画する研修内容として

※外部研修については、案内の都度参加について検討する。

月	研修テーマ	概要
4	会議進行①	資料による学習及び演習(ロールプレイなど)により、会議進行におけるスキルアップを図る。
5	会議進行②	
7	看取り	終末期のケアにおける、ケアマネジャーとしてのあり方、チーム形成、配慮すべき点等について学ぶ。
9	デスカンファレンス	デスカンファレンスの意義を資料にて学習する。また、より良いケアマネジメントが行なえるように終結したケースの振り返りを行なう。
11	薬、栄養、口腔ケア	各項目に該当する職種との連携の仕方とその意義、マネジメントの方法や有効性などを学ぶ。
不定	スーパービジョン	ケアマネジャーが抱える悩みや課題の解決を行なうと共に、ケアマネジャーとしてのスキルアップを図る。
不定	事例検討会	事例に焦点を当て、そのケースの課題解決に向かつて様々な意見を出し合う。

### 4. その他

- ・包括支援センターが主催する「包括圏域居宅連絡会」への参加
- ・同じく「地域ネットワーク協力員」としての活動
- ・その他包括支援センター事業への協力
- ・大館市在宅医療・介護連携推進協議会の活動への参加協力
- ・他法人の居宅介護支援事業所との事例検討会開催

# 平成 30 年度 大館市地域包括支援センターおおたき 事業計画

## 【包括的支援事業】

### 1. 運営方針

住み慣れたまちで自立して生活していくことを実現するために、個々の状況に応じた予防対策を図るとともに、介護が必要になっても地域で自立した日常生活を送ることができるよう地域支援事業が実施されている。

地域包括支援センターは、高齢者をはじめとする地域住民の総合相談窓口となっている。主な相談内容は介護サービスや介護予防サービスに関するものが多いが、目指すまちの要となる地域支援事業は包括支援センターの大きな役割といえる。

大館市では、平成 29 年度のみなし期間を経て総合事業がスタートし、平成 30 年度は予防給付による通所サービスおよび訪問サービスが廃止される。総合事業については今後利用料などが緩和された新たな事業がスタートする予定となっている。

介護予防活動や自立支援が強化される動きの中、事業対象者や軽度の介護認者は、サービスの受け入れが厳しくなった現実もあり、今後の取り組みとしては、介護や認知症予防の普及啓発、専門機関や地域住民を巻き込んだ地域包括ケアシステムの構築が重要になっていくと感じている。今後も連携を図りながら住みやすい地域づくりに取り組んでいく。

また、住民対象の顧客満足度調査からは、センターの業務内容や活動について周知を図ってほしいとの要望が多く挙げられた。業務の周知と共に各事業を開いていくことで、『誰もが安心して暮らせる地域』を目指し努めていく。

### 2. 重点目標

#### ・地域ケア会議の充実

居宅介護支援事業所との連携による地域ケア個別会議の開催による個別課題の解決、また、地域ニーズの把握および資源開発に向けた地域ケア会議開催を充実していく。

### 3. 事業内容

- (1) 介護予防支援および介護予防ケアマネジメント
- (2) 総合相談支援業務
- (3) 権利擁護業務
- (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

専門機関や地域とのネットワークを強化により切れ目のない支援を図っていく。

- (5) 地域ケア会議の開催
- (6) 在宅医療・介護連携推進事業  
「大館市在宅医療・介護連携推進協議会」への参加による。
- (7) 認知症施策推進事業  
認知症予防教室の開催や認知症サポーター養成講座・認知症カフェの実施、認知症地域支援推進員としての活動による。

## 【生活支援体制整備事業】

### 1. 運営方針

平成 29 年 4 月の事業開始以降、おおむね月 1 回開催されている生活支援体制整備事業連絡会に参加し、継続的に自治体と第2層生活支援コーディネーター等と情報共有を図ってきた。こうしたことから、当法人では、地域包括支援センターおおたきの担当圏域を日常生活圏域(4 地区)にわけて、生活支援体制整備事業を実施する方針とし、まずは十二所地区から、関係者のネットワーク化や資源状況の見える化に努め、支え合い体制づくりを推進してきた。

今後は、二井田・真中・上川沿地区においても積極的に出向いていき、地域住民の社会参加や役割づくりにつながる資源の発見や支え合いの地域づくりについての情報発信、地域支え合い推進会議の設置に取り組んでいく。また、十二所地区においては、地域支え合い推進会議での意見交換を通して、地域ニーズを把握するとともに、目指す地域像の統一、方針の共有が図られるよう取り組んでいく。

### 2. 重点目標

- (1) 地域住民の社会参加や役割づくりにつながる資源を発見する。
  - ① 地域に詳しい人と知り合いになり、地域に入っていくことで、日々のつながりや交流を把握する。
  - ② 暮らしの困りごとや地域に必要な取り組みなど、住民の声を集める。
- (2) 各地区で事業について情報の発信に努め、地域住民への啓発を図る。
  - ① 各地区で勉強会を開催し、誰もが住み慣れた地域で元気に暮らし続けるためには、生活支援と介護予防を充実させ、まちごと元気なることが重要であることの理解を深められるようにする。
  - ② 生活支援体制整備事業のチラシ等を活用し、活動をPRする。

#### ◆ 十二所地区

- ① 第2層協議体である地域支え合い推進会議を活用し、地域ニーズの把握と目指す地域像の意識統一を図り、方針を共有する。

◆ 二井田・真中・上川沿地区

- ① 第2層協議体である地域支え合い推進会議の設置に向けて委員を選定する。

地区 月	十二所	二井田	真中	上川沿
4	地域支え合い推進会議 (懇談会形式 地域課題・地域の悩みの掘り起こし)	地域との関係づくり、日々のつながりや交流を把握する。	地域との関係づくり、日々のつながりや交流を把握する。	地域との関係づくり、日々のつながりや交流を把握する。
		自治会長連絡協議会で説明		
5	福祉員会議に参加	福祉員会議に参加		民生委員会議に参加
6			第1回勉強会	民生委員会議に参加
7	地域支え合い推進会議(地域の強み・目指す地域像の意識統一)		地域支え合い推進会議の委員の候補者選定	福祉員会議に参加
8		第1回勉強会		町内会長連絡協議会に参加
9		地域支え合い推進会議の委員の候補者選定		
10		新設の地域包括支援センターの担当法人と打ち合わせ	新設の地域包括支援センターの担当法人と打ち合わせ	第1回勉強会
11	地域支え合い推進会議 (方針の共有)			地域支え合い推進会議の委員選定

【その他の事業】

1. 重点目標

北部シルバーエリアコミュニティセンターを拠点としながら、各地域への活動参加や地域包括支援センターの機能周知活動に力を入れ、介護予防や支え合う地域づくりの普及啓発に努めていく。

2. 活動内容

- (1) 生きがい健康づくり支援事業

担当圏域の高齢者の地域参加を促し、生活に生きがいやハリを与えることや、心身の健康づくりを支援する。

【活動内容】脳トレーニング・軽体操・レクリエーションなど

## (2) 家族介護者教室

主に介護に携わる家族を対象とし、要介護状態におけるそれぞれの症状や特性の習得および介護者間の情報共有や交流を図ることにより、在宅介護を支援する。

## 3. 年間活動予定

事業	場所	回数
生きがい健康づくり支援 (年間 43 回)	北部シルバーエリアコミュニティセンター	9
	十二所公民館	3
	二井田公民館	3
	二井田公民館分館(麓西会館)	2
	真中公民館	3
	山館苑	4
	各地区会館(6 地区)	19
家族介護者教室 (年間 12 回)	北部シルバーエリアコミュニティセンター	3
	十二所公民館	1
	二井田公民館	1
	二井田公民館分館(麓西会館)	1
	真中公民館	1
	山館苑	2
	各地区会館(3 地区)	3

### (1) 地域活動など

- ① 地域ネットワーク協力員活動(会議や研修開催)
- ② 各地区民生児童委員協議会への参加
- ③ 地域主体のサロンや各活動への参加協力

### (2) 会議など

- ① 福祉包括連絡会…月 1 回
- ② 部門会議…月 1 回

③ ミーティング…週 1 回

④ 包括圏域居宅連絡会…月 1 回

担当圏域内の居宅介護支援事業所と連絡会を開催し、情報共有やケアマネ支援を目的とし事例検討などを実施する。

# 平成 30 年度 大館市ケアハウスほうとう 事業計画

## 1. 運営方針

### (1) 大館市ケアハウスほうとう(一般型)

ケアハウスは自立した生活を送ることのできる高齢者が、24 時間安心して生活できるように管理運営されている軽費老人ホームである。共同生活といえども、入居者個々の自主性を尊重し、入居者がその人らしく、生き生きとした生活を送ることができるよう支援していく。

一般型では介護度をもって入所される方もおり、介護度のない自立の方の入居は全体の約1/4 程となっている。顧客満足度調査から、健康に関する関心が高いことが伺え、ケアハウスにおいては心身機能の維持を図り、自分らしく自立した生活を営むことが大きなテーマとなっている。

平成 29 年度は一般入居者の生活状況において、心身機能の低下による生活面での困難さを発見する事が多々あったので、居宅介護支援事業所と情報共有を図り、サービス利用に繋げていきたい。また、介護保険制度で補う事が難しい援助も増えており、介護保険外の資源も活用し、自立した生活が送れるよう支援する。

### (2) 特定施設入居者生活介護事業

平成 24 年度からケアハウス 50 床のうち 20 床について、「特定施設入居者生活介護事業」を導入した。入浴、排泄、食事、その他生活全般に渡り、契約に基づき介護サービスの提供がなされている。介護度が重度になると、特別養護老人ホームへの移設を希望する家族も増えており、移設にあたっては、家族と入居者の生活状況と健康状態の情報共有が重要となってくる。

平成 29 年度の顧客満足度調査では、遠方に住んでいる家族等から、頻繁に面会に来られないことを不安に思っているといった声が聞かれた。平成 30 年度は利用者の生活状況が家族に分かり易く伝わるよう、情報提供を密に行っていく。

また、特定施設入居者生活介護事業の導入から 6 年が経過した。今後は施設介護を提供していく中で、入居者の自主性や自立性を引き出す環境作りと援助に取り組んでいく。

### (3) 配食サービス事業

平成 29 年度から新規事業として配食サービス事業を実施している。この事業は、一人暮らしや高齢世帯等のうち自宅で食事を手配するのが困難な方に対して、低額な食事を配達するとともに安否の確認を行うものである。

大館市介護保険事業の地域支援事業として開始し1年が経過したが、市内の他事業者への情報提供などにも努め、事業の市内全域への水平展開も始まっている。

在宅部門、また医療との連携を取りながら、在宅での生活が継続できるような食事支援に取り組む。

## 2. 重点目標

### (1) 介護部門

「特定施設入居者の居住環境に潜むリスクを軽減する」

身体介護を必要とする特定入居者の居室は、介護用品が数カ所に置かれているなど、職員の業務が行いやすいような環境に変わってきているという気づきが職員からあがつた。

入居者の安全面を確保し、整理整頓された環境を作る。

### (2) 看護部門、相談部門

「緊急時対応手順の見直しを行う」

「看護師不在時の緊急対応マニュアル」「フローチャート」はあるものの、緊急時、介護員が一人で対応するには煩雑な手順になっている。また、緊急受診時に使用する「ケアハウス情報提供書」の内容変更の手順も定まっておらず、情報の更新が上手くできていない。家族への連絡等も含め、全職員がスムーズに同じ対応が出来るよう手順の見直しを行っていく。

### (3) 栄養部門

「入居者に対するサルコペニアチェック実施の継続」

嗜好調査や顧客満足度調査において、行事食やバイキング食については昨年同様好評であった。しかし、日々の食事提供では盛り付けや調理技術に関係する「不適合報告書」が提出されたことや、検食簿内の記載では職員からの厳しい指摘もみられた。食事提供のあるべき姿を、委託先と検討を重ねていく。

個別ケアとして、入居者のサルコペニアチェックを実施した結果、食事摂取量、体重、身体活動の変化が数値として読み取ることができた。継続し実施することで、他職種との連携を図りながら栄養面からのADL保持のサポートを実施する。

※サルコペニア…加齢によって体内の筋肉量が著しく減少する現象

### (4) 事務部門

「大館市への設備機器等更新修繕の実施要望を行う」

暖房機器をはじめ各種設備が経年劣化に伴い老朽化してきていることから、設備機器等の更新について建物の所有者である大館市に隨時要望し、現在

の指定管理契約期間中の完了をめざす。

### 3. 年間研修計画

月	内 部 研 修	外 部 研 修	
	全職種共通	施設長・相談員・事務	看護師・栄養士・介護員
4			
5	食中毒予防について	・福祉保健施設・事業者等職員研修	
6			・栄養士県北地区研修会
7	認知症ケアについて		・県老人福祉施設職員研修 ・社会福祉施設における労働災害防止等講習会
8		・相談職員研修 ・県北地区老施協施設長研修	・高齢者虐待防止セミナー
9	権利擁護（虐待防止、身体拘束防止）について		・福祉保健施設、事業者等看護職員研修
10		・東北ブロック軽費老人ホーム研修 ・県北地区老人福祉施設職員研修会	・栄養指導技術研修会 ・栄養情報提供書研修会
11	感染症及びまん延の予防	・県北地区相談員部会研修 ・老人福祉施設協議会研修Ⅰ ・秋田県老人福祉施設協議会決算セミナー	・社会福祉施設における感染症対策研修会
12	事故発生等、緊急時の対応		・大館福祉環境部管内給食施設関係者研修会
1			
2	倫理及び法令遵守	・養護・軽費・ケアハウス研修	
3		・県老人福祉施設長研修会Ⅱ	

#### 4. 年間行事・給食・管理計画

月	行 事	行事食	相談・栄養・看護部門	管理部門
4	みんなのおやつタイム バイキング お花見ツアーエ みんなで作品作り	よもぎ餅 バイキング		防災訓練(総合)
5	お取り寄せ弁当 端午の節句	花善鶏飯弁当 柏餅		
6	外食ツアーエ みんなの勉強会 みんなのおやつタイム	クッキー	嗜好調査	ガラス清掃
7	お楽しみ昼食会 成章小学校(2・3年生)交流会	バーベキュー		入居者健康診断
8	みんなのおやつタイム 夏祭り バイキング 外食ツアーエ みんなで作品作り	ミックスパフェ夏 野外特別メニュー バイキング食		
9	敬老会 彼岸	祝膳 おはぎ		施設内ワクス掛け 結核検診
10	日帰りバス旅行 みんなのおやつタイム きりたんぽ会 みんなの勉強会	ミックスパフェ秋 きりたんぽ	入居者相談会	防災訓練(夜間想定)
11	外食ツアーエ バイキング	バイキング食		インフルエンザ予防接種 ガラス清掃
12	クリスマス会、森のおうち交流会 十二所保育園交流会 シャイニングストリート見学 年越し	クリスマスバイキン グ 年越し膳		顧客満足度調査 居室蛍光灯カバー清掃
1	正月	正月膳		

月	行 事	行事食	相談・栄養・ 看護部門	管理部門
	だまこ鍋 外食ツアード	だまこ鍋		
2	開設記念食事会 節分 バレンタイン	寿司(外注) 豆 チョコ		施設内ワックス掛け
3	ひな祭り 彼岸 バイキング	ちらし寿司・さくら餅 ぼた餅 バイキング食	医療・栄養相談会	空調機器清掃 ろ過機保守点検 暖房機保守点検 消防設備保守点検

# 平成 30 年度 大館市立老人福祉センター 事業計画

## 1. 運営方針

- (1) 老人福祉センターとして、高齢者に関わる情報の提供や各種の相談に応じながら、高齢者の健康増進及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
- (2) 公共施設として高齢者をはじめ市民の方々の生きがいと健康づくりの場として活用されるよう、接客・接遇の向上を図り、親しまれる施設づくりに努める。

## 2. 重点目標

- (1) 年間来館者数 42,000 人(3,500 人／月平均、125 人／日)の達成
  - ・施設紹介の PR(のぼりの設置、広報掲載、他)
  - ・ホームページでの情報発信(行事予定、施設館内、施設周辺の風景等)
  - ・変わり風呂の実施(7月 20 日土用の丑の日、11月 26 日いい風呂の日)
  - ・大館きりたんぽまつりの協賛(まつりチケット購入者の入浴料割引)
  - ・ポスター掲示(回数券の発行、トレーニング機器の設置、入浴マナー等)
- (2) 施設内外の環境整備の推進
  - ・館内のきめ細かな清掃と整理整頓の実施
  - ・外周の草刈、ゴミ拾い、路面の整備

## 3. 事業内容

- (1) サービス内容:入浴、休憩、介護等の情報発信、相談の受付他
- (2) 入浴無料日:《毎週水曜日》要支援及び要介護認定者・身障手帳所持者  
《9月 17 日敬老の日》高齢者(60 歳以上)
- (3) 回数券の発行:高齢者 10 回券(11 枚綴り)、20 回券(23 枚綴り)  
一般 10 回券(11 枚綴り)
- (4) 健康づくりの推進:マッサージ機及びトレーニング機器の設置
- (5) 館内環境整備:日常清掃及び特別清掃、浴室消毒の実施、廊下ワックス掛け
- (6) 苦情・要望への対応:目安箱の設置と回答の掲示、市担当課への月次報告
- (7) 委託業務:日直業務、警備システム、日常清掃、特別清掃(月 2 回)、廊下ワックス掛け、貯水槽清掃、水質検査、浄化槽清掃汲取り、塵芥収集運搬、敷地内除雪、レジオネラ属菌検査

# 平成 30 年度 大館市ふれあいセンター やまびこ 事業計画

## 1. 運営方針

- (1) 施設設備の安全、充実に努め、保育所、幼稚園、小・中学校、老人クラブ、子育てグループ等、各種団体の利用促進を図る。
- (2) 健康づくり、生きがいづくりの場として県コミュニティセンター・関係各施設や地域と連携を図り、児童から高齢者までの各年代層が自然な形で交流できるよう多世代交流事業の展開を図る。
- (3) 放課後児童健全育成事業として「成章にこにこクラブ」を開設し、放課後の学童に安らぎの場、学びの場を提供し、学童の心身の健全育成に努める。
- (4) 乳幼児保育施設として開設している「成章保育ルーム森のおうち」は、家庭、地域との連携を図りながら、入所する児童の子どもの健全な心身の発達を図るとともに、入所児の保護者や子育て家庭に対する支援を行っていく。

## 2. 重点目標

- (1) 関係団体や地域のニーズを考慮し、創意工夫に努め、子育て中の親子や、一般の方などの多くの利用者の触れ合いの場として、いつでも誰でも利用できるよう、利用者の側に立ったサービスを提供する。
- (2) 施設の利用や事業において、県コミュニティセンターの多世代交流、事業所内の高齢者施設の利用者と積極的に交流を行う。
- (3) 成章にこにこクラブは利用者と常にコミュニケーションをとりながら、利用しやすい、話しやすい環境作りを実施していく。
- (4) 成章保育ルーム森のおうちでは、入所児の保護者に対する支援及び子育て家庭に対する様々な支援を行う役割を担うとともに、入所児童が様々な人と関わる中で、自主、自立及び協調の気持ちを養い、一人一人が生き生きと生活できる力を育てていく。
- (5) 常に施設設備の安全点検を行い、利用者の事故防止に努めるとともに、不審者対策、防災訓練、避難訓練、交通指導を実施し非常事態に備える。

## 3. 事業内容

### (1) 放課後児童クラブ「成章にこにこクラブ」

放課後の学童に安らぎの場、学びの場を提供し、学童の心身の健全育成を図る。

平日	土曜日及び学校休業日	利用料
放課後～19 時迄	8 時～19 時迄	3,000 円

※ 2人目以降は 1,500 円

(2) 成章保育ルーム森のおうち

- ・休園日　日曜、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)
- ・保育時間は午前8時～午後6時とし、家庭支援を図っていく。

4. 平成30年度　にこにこクラブ行事計画

月	行　事　内　容	
4	6日（金）	にこにこクラブ開講式
	11日（水）	新入生を迎える会
	20日（金）	避難訓練
5	9日（水）	じゃがいも植え
	下旬	さつま芋苗植え
6	13日（水）	おやつ作り
	20日（水）	誕生日会（4・5・6・月生まれの人）
	21日～	七夕の飾り作り
7	6日（金）	七夕集会
	23日（月）	じゃがいもの収穫
	27日（木）	カレークッキング
8	1日（水）	どろだんごつくりに挑戦しよう会
	4日（土）	事業団〔夏まつり〕
	8日（水）	流しそうめん大会
	17日（金）	総合避難訓練
	23日（木）	スイカ割り（森のおうち・ケアハウスと交流）
9	5日（水）	おやつ作り
	26日（水）	誕生日会（7・8・9月生まれ）
	下旬～	ハロウィン制作
10	上旬	避難訓練
	3日（水）	野外活動・さつま芋の収穫
	中旬	野外活動・バス遠足
	31日（水）	ハロウィンパーティ
11	上旬	焼きいも会（森のおうち・ケアハウスと交流）
	7日（水）	おやつ作り
	28日（水）	誕生日会（10・11・12月生まれ）
12	25日（火）	クリスマス会
	28日（金）	にこにこクラブ忘年会

月	行 事 内 容
1	4 日 (金) 平成 31 年度にこクラ会員募集開始 上旬 お正月のあそび
	11 日 (金) 作って食べよう会
2	1 日 (金) 節分・豆まき 中旬 避難訓練
	20 日 (水) 誕生日会 (1・2・3 月生まれ)
3	1 日 (土) ひなまつり会 6 日 (水) お別れ会 15 日 (金) にこにこクラブ閉講式 22 日 (金) 肩たたき会 (ケアハウスと交流)

## 平成 30 年度 年間事業計画（成章保育ルーム森のおうち）

緑いっぱい!!

わくわく・どきどき森のおうち

～人とのつながりの中で  
一人一人がのびのびと～

保育目標

- ◎地域自然に親しむ子
- ◎心豊かで思いやりのある子
- ◎のびのびと行動できる子

月	行事	地域・学校関連
4	5 日 (木) 入園式 合同避難訓練 (にこクラ) 交通安全教室	
5	下旬 ○保育参観・育児講座	さつま芋植え (世代間交流事業)
6	歯科検診 ピクニック サッカー教室 (交流保育) ○親子遠足	○成章園地域交流会 保小連絡協議会 ケアハウス訪問
7	七夕の集い ○夕涼み会 サッカー教室 (交流保育) 下旬 川遊び (5歳児交流)	
8	4 日 (土) 年長児お泊まり保育 上旬 プール遊び (交流保育) スイカ割り	事業団夏祭り

月	行事	地域・学校関連
	総合避難訓練 サッカー教室（交流保育）	
9	サッカー教室（交流保育） ○運動会 ○健康診断	保・小ふれあい交流会 つくし苑敬老会
10	サッカー教室（交流保育） 就学時健診（5歳児） 合同避難訓練（にこクラ）	コミセンさつま芋掘り (世代間交流事業)
11	○親子虫歯予防教室 合同防犯訓練（にこクラ）	ディサービス大滝訪問 成章小体験入学
12	上旬 ○お楽しみ会 クリスマス会	ケアハウス訪問 つくし苑訪問 成章園訪問
1	○OB会 森のおうち卒園児 (1年生)と交流 ○保育参観 合同防犯訓練（にこクラ）	にこにこクラブ一日体験 (5歳児)
2	1日（金） 節分豆まき会 ○H31年度入所児健康診断 合同避難訓練（にこクラ）	成章小体験入学（5歳児）
3	1日（金） ○ひな祭りお茶会 (祖父母交流) お別れ遠足 23日（土） ○卒園式（予定）	ケアハウス訪問

## 平成 30 年度 大館市へき地保育所 事業計画

平成22年4月より、へき地保育所を大館市から指定管理者として受託しており、現在は第2期の4年目をむかえている。

少子化の加速、世帯構造の変化が顕著になってきている昨今の中にあって、4月より新たに2歳児26名を含む162名の児童を迎える、地域との連携を大切にしながら、地域に根ざした保育を目指す。

### 1. 運営方針

- (1) 児童福祉法、児童福祉施設最低基準に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進し、社会的責任を果す。
- (2) 地方自治法、消防法、大館市へき地保育所設置条例、個人保護条例など関係するすべての法令を遵守し、運営の適正化を図る。
- (3) 保育従事者は、保育士倫理綱領に基づき、子どもの人権や人格を尊重するとともに、公的保育・教育を担う自覚をもって、保育所保育指針に準拠した保育を計画、実施する。
- (4) 質の高い保育を提供できるよう、保育環境の整備、職員の研修の保障に努める。
- (5) 関連機関との連携を図り、保育施設としての専門性を高めるとともに、利用者の要望に対応する。
- (6) 開かれた社会資源として、地域との交流や連携を積極的に図り、施設や機能を提供する。
- (7) 利用者への情報提供、並びに開示を積極的に行い、説明責任を果すとともに、保護者が適切かつ円滑に利用できるようにする。
- (8) 利用者や地域住民の要望や意見を把握したり、公正かつ客観的な評価、市の調査を受けたりする体制を整え、運営や保育の改善に努める。
- (9) これまでの各園の保育方針、地域との信頼関係等を継承する。

### 2. 事業内容

#### (1) 保育方針

へき地保育所は、地域の幼児教育施設として住民の信頼が厚く、地域に根ざした保育所として機能してきた。

平成 30 年度も社会や利用者のニーズに対応できる、より質の高い保育をめざす。

#### (2) 職員研修の確保

- ① 園内研修の充実
- ② 市や県の保育実地指導を受ける体制づくり
- ③ 年次研修(初任者研修、5年経験者研修、10年経験者研修)への積極的

な参加

- ④ 関連機関への加盟(保育士会、保育協議会等)
  - ⑤ 外部団体の研修への参加
- (3) 2歳児の保育への配慮(未満児保育と3歳以上の集団的な保育の区別)
- ① 個別の配慮ができる生活の流れ
  - ② 発達に応じた施設整備(トイレ、畳、体を洗うお湯など)
  - ③ 個別の指導計画(月案)
- (4) 保育所保育指針、幼稚園教育要領に準拠した保育内容
- ① 発達に応じた保育が保障されるよう年齢別保育、担任制を基本とする。
  - ② 最低限必要な書類、資料の整備
  - ③ 保育課程の編成、保育計画(年間指導計画、月案、週日案、保育日誌)、児童票
  - ④ 保育所児童保育要録の作成と小学校長への送付
- (5) 発達上課題が見られる子ども、特に配慮を必要とする子どもへ細やかな対応ができる職員体制
- ① 保育補助職員の配置
  - ② ひまわり園の活用、専門機関の指導を受ける体制
  - ③ 個別の支援計画の作成
  - ④ 就学支援
  - ⑤ 発達上課題が見られる子どもの保育
  - ⑥ 長時間保育、土曜保育
  - ⑦ 次世代育成支援、世代間交流
- (6) 研修参加のための、代替職員、予算(研修費、旅費)の確保
- (7) 自己評価の実施、苦情解決システムの構築
- ① 第3者委員の設置
  - ② 苦情解決システム

### 3. 平成 29 年度在園児数

平成 30 年 3 月 1 日現在

No.	保育所名	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1	二井田保育所	3	5	9	13	30
2	真中保育所	2	3	3	5	13
3	下川沿保育所	8	4	10	14	36
4	沼館保育所	3	7	4	7	21

No.	保育所名	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
5	花岡保育所	4	7	5	10	26
6	矢立保育所	2	5	2	7	16
7	長木保育所	11	7	17	26	61
	合 計	33	38	50	82	203

#### 4. 平成 30 年度入園申込数

平成 30 年 3 月 1 日現在

No.	保育所名	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	増減
1	二井田保育所	2	2	5	9	18	▲12
2	真中保育所	4	2	3	3	12	▲1
3	下川沿保育所	2	9	5	10	26	▲10
4	沼館保育所	7	6	7	4	24	3
5	花岡保育所	3	4	7	5	19	▲7
6	矢立保育所	1	2	5	2	10	▲6
7	長木保育所	7	20	10	16	53	▲8
	合 計	26	45	42	49	162	
	増 減	▲7	7	▲8	▲33		▲41

## 平成 30 年度 年間事業計画(二井田保育所)

### ～心、体たくましく～

- 保育目標 ○ 身近な人との関わりを通して、愛情や信頼感を持つ  
 ○ 興味のある遊びに十分に関わり、充実感や達成感等を味わい、自信を持って生活する

月	行 事	地域・学校関連
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式 保護者会総会</li> <li>・新入児歓迎会</li> <li>・子どもの日祝会</li> <li>・サケの稚魚放流</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全教室</li> <li>・保育参観</li> <li>・足型とり</li> <li>・保護者早朝草取り奉仕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小連絡協議会</li> <li>・年長児さつま芋苗植え(北部エリア世代間交流事業)</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科検診</li> <li>・運動会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区運動会</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕集会</li> <li>・個人面談</li> <li>・プール開き</li> <li>・真中保育所交流ブルーベリー摘み(年長児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちびっ子夏祭り(公民館事業・有志参加)</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真中保育所交流プール(年長児)</li> <li>・総合防犯訓練</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子レクレーション</li> <li>・健康診断</li> <li>・保護者早朝草取り奉仕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会参加(年長児)</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩き遠足</li> <li>・総合防災避難消火訓練</li> <li>・真中保育所交流りんごがり(年長児)</li> <li>・祖父母交流焼き芋会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南小ふれあい交流会 ・小学校就学時健診</li> <li>・年長児さつま芋収穫(北部エリア世代間交流事業)</li> <li>・南小學習発表会予行参観</li> </ul>

月	行 事	地域・学校関連
11	・親子歯科講習会 ・祖父母交流おにぎり会食 ・七五三集会	・公民館文化祭参加
12	・遊戯会 ・クリスマス会	
1	・保育参観 ・真中保育所交流雪あそび(年長児)	・ちびっ子冬祭り(公民館事業・有志参加) ・南小体験入学(年長児)
2	・節分集会 ・平成31年度入園児健康診断 説明会 ・卒園記念写真撮影 ・足型とり	
3	・祖父母交流ひな祭り会 ・年長児親子お楽しみ会 ・祖父母卒園式・修了式予行参観 ・卒園式・修了式	・地域交流ひな祭り会 ・保小連絡協議会

毎月の行事…交通安全指導・防災避難消火訓練・防犯訓練・身体測定・誕生会

## 平成 30 年度 年間事業計画(真中保育所)

**～豊かな言葉をはぐくむ～**

### 保育目標

- ・いきいきと遊べる子
- ・豊かに表現できる子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・地域との触れ合いを楽しめる子

月	行 事	地域・学校関連
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園式</li> <li>・新入児歓迎会</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの日祝会</li> <li>・祖父母交流会(さつまいも・野菜の苗植え)</li> <li>・保育参観</li> <li>・交通安全教室・早朝作業活動(草刈り・草取り)</li> <li>・足型取り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南小学区保小連絡協議会 (1年生の授業参観・情報交換)</li> <li>・JA訪問(さつま芋の苗をもらいに行く)</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会</li> <li>・歯科検診</li> <li>・早朝作業活動(プール掃除、草刈り)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真中地区運動会参加</li> <li>・食育教室(健康推進課)</li> <li>・ひまわりの種・苗植え(真中公民館)</li> <li>・ふれあい交流学習(南中学生来園)</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕集会</li> <li>・個人面談</li> <li>・交流保育(二井田保育所から年長児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真中地区シルバー人材センタ一会员による草刈り・草取り</li> <li>・要請訪問(大館市子ども課)</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プール参観</li> <li>・ブルーベリー摘み (二井田保育所年長児と交流)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき学級と交流会(真中公民館)</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子レクレーション・交流保育(花岡、矢立保育所から年長児)</li> <li>・健康診断</li> <li>・早朝作業活動(草刈り・草取り)</li> <li>・りんご狩り</li> <li>・交流保育(沼館保育所から全園児)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬老会で遊戯披露</li> <li>・ひまわりの種収穫(真中公民館)</li> </ul>

月	行 事	地域・学校関連
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩き遠足</li> <li>・祖父母交流会（さつまいも掘り）</li> <li>・総合避難消火訓練</li> <li>・交流保育(年長児沼館保育所へ)</li> <li>・焼いも会</li> <li>・ハロウィンごっこ・練り歩き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい交流会(南小 1.2 年生と年長児)</li> <li>・南小学校.学習発表会予行参観(年長児)</li> <li>・南小学校.就学時健診(年長児)</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子歯科講習会</li> <li>・七五三祝い会</li> <li>・総合防犯訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・真中地区文化祭.遊戯出演</li> <li>・要請訪問(北教育事務所)(南小学校から保育参観)</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯会</li> <li>・クリスマス会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊戯披露（入園前児童・地域・いきいき学級）</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かるた大会</li> <li>・保育参観</li> <li>・交流保育(年長児.二井田保育所へ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お寺見学(源守院)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・節分集会</li> <li>・足型取り</li> <li>・H31 年度入所児健康診断・入所説明会</li> <li>・卒園・修了記念写真撮影</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南小学校.体験入学(年長児)</li> <li>・いきいき学級と交流会(真中公民館)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひな祭り会</li> <li>・お別れ会</li> <li>・卒園式.修了式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南小学区保小連絡協議会(1 年生の授業参観・情報交換)</li> <li>・保育要録送付(南小学校)</li> </ul>

※毎月の行事： 交通安全指導、避難消火訓練、防犯訓練、身体測定、誕生会

## 平成 30 年度 年間事業計画(下川沿保育所)

### ～えがおでけんきにのびのびと～

- 保育目標 1. 健やかな体と心を持つ子 2. 豊かな感性と創造性にあふれる子  
 3. 自分なりに考える子 4. 地域との触れ合いを楽しめる子

月	行事	地域・学校関連
4	・入園式・進級式 ・子どもの日祝会 ・じやがいも種植え	
5	・さつま芋苗植え ・交通安全教室 ・保育参観日・保護者会総会・クラス懇談	
6	・親子バス遠足 ・歯科検診 ・祖父母草取り交流会	・地区親睦運動会 ・川口小学校と交流 ・高齢者学級草取り交流会
7	・七夕集会 ・プール開き ・夏祭り ・PTA 清掃奉仕	・下川沿地区合同研修会
8	・総合避難訓練	
9	・健康診断 ・運動会 ・保護者会清掃奉仕	・敬老会参加（年長組）
10	・歩き遠足 ・さつま芋掘り ・親子ふれあい体操（年中組）	・地域防犯パレード参加 ・公民館文化祭参加 ・小学校就学時健診
11	・平成 31 年度入所児童募集 ・保育参観日 ・親子歯磨き講習会	
12	・発表会 ・クリスマス会	
1	・保護者会除雪奉仕	

月	行事	地域・学校関連
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年度入所時健康診断・説明会</li> <li>・豆まき</li> <li>・お茶と和菓子の会（祖父母交流会）</li> <li>・総合避難訓練（通報）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校1年生との交流会</li> <li>・高齢者学級との交流会（お茶会）</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひな祭り会</li> <li>・お別れ会</li> <li>・卒園式・修了式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校情報交換</li> </ul>

毎月の行事・・・交通安全指導、避難訓練、身長体重測定、誕生会

## 平成 30 年度 年間事業計画（沼館保育所）

保育目標：地域、自然に親しみ、心豊かに、たくましく

目指す子どもの姿

- |            |                 |
|------------|-----------------|
| ○生き生きと遊べる子 | ○友だちと仲良く遊べる子    |
| ○豊かに表現できる子 | ○地域との触れ合いを楽しめる子 |

月	行事	地域・学校関連
4	○入所式・保護者会総会 ○こどもの日祝会	
5	○ジャガ芋植え ○交通安全教室 ○個人面談	○さつま芋苗植え・草取り（老人会交流） ○なかよしお風呂（5・4歳児）
6	○歯科検診 ○親子遠足	○なかよしお風呂（3歳児）
7	○プール開き ○七夕集会（祖父母交流） ○保育参観	○真中保育所交流会 ○沼館地区運動会参加
8	○夏祭り会 ○ジャガ芋掘り ○総合避難訓練	
9	○おみこし練り歩き ○りんご狩り ○真中保育所交流 ○健康診断（児童のみ） ○歩き遠足	○地区敬老会参加
10	○運動会 ○防犯訓練教室 ○焼き芋会（祖父母）	○真中保育所交流会 ○沼館地区総合避難訓練参加 ○芋掘り（老人会）
11	○次年度入所児募集開始 ○親子歯科講習会・保育参観	○地区公民館祭参加
12	○ゆうぎ発表会 ○クリスマス会	

月	行事	地域・学校関連
1	○ゆうぎ発表会 ○クリスマス会	
2	○次年度入所児健康診断・入所説明会・個人面接 ○個人面談	
3	○豆まき（節分） ○お別れ会 ○総合防災避難訓練	○小学校交流会

※毎月の行事：交通指導・身体測定・避難訓練・防災訓練・誕生会

## 平成 30 年度 年間事業計画（花岡保育所）

瞳 きらきら 心 どきどき 体 わくわく

保育目標：好きな遊びを心ゆくまで楽しむことを通して、生きる力の基礎を育てる

目指す子どもの姿：生き生きと遊べる子 豊かに表現できる子

友達と仲良く遊べる子 地域との触れ合いを楽しめる子

月	行 事	地 域・学 校 関 連
4	入所式・進級式 保護者会総会 絵本読み聞かせ	花岡小学校 入学式 北陽中学校 入学式 保小連絡協議会 花岡小学校授業参観
5	保育参観 矢立保育所交流	花岡小学校運動会（5歳児参加） 北陽中学校職場体験 地域交流①
6	交通安全教室（警察官依頼） 親子バス遠足 歯科検診 石田ローズガーデン見学 所内研究（1回目）	神山荘シルバーオリンピック参加（3・4・5歳児）
7	夕涼み会 ブルーベリー狩り（5歳児本宮）	保小交流 5年生七夕交流会 2回
8	総合避難訓練（消防士依頼） 北教育事務所要請訪問 所内研究（2回目）	花岡小学校、第三者評価委員、地域の方保育参観
9	健康診断 運動会 りんご狩り（5歳児赤石玉光園）	敬老会（5歳児おゆうぎ参加） 地域交流②
10	歩き遠足 所内研究（3回目）	年長児就学時健診 栗拾い（成田さん宅） 花岡小学校学習発表会
11	七五三詣り 親子虫歯予防講習会 防犯訓練（警察官依頼） 個人面談	花岡地区産業文化祭（4・5歳児出演） りんご狩り（安部さん宅）

月	行 事	地 域・学 校 関 連
12	おゆうぎ会 祖父母交流 クリスマス会・会食	地域交流③ 地域交流④
1	保育参観 平成31年度健康診断・面接・説明会 所内研究(4回目)	保小交流新春かるた大会(5歳児参加) 保小連絡協議会
2	豆まき 卒園・修了記念写真撮影	花岡小学校1日体験入学 第三者評価委員会
3	ひなまつりお茶会・会食 お別れ会 卒園式・修了式	花岡小学校卒業式 北陽中学校卒業式

《毎月の行事》交通安全指導・身体測定・防災避難消火訓練・防犯訓練・誕生会・5歳児絵本読み聞かせ(お話の森)

## 平成 30 年度 年間事業計画（矢立保育所）

《保育目標》◎心身ともに豊かでたくましい子どもを育てる。

- 1、健康で明るく元気に遊べる子ども
- 2、やさしい心と思いやりのある子ども
- 3、自分で感じたことや考えたことを表現できる子ども
- 4、地域との触れ合いを楽しめる子ども

月	行事	地域・学校関連
4	入所式 保護者会総会 絵本読み聞かせ（花岡保育所交流）	矢立小学校入学式
5	保育参観 野菜苗植え（祖父母交流） 交通安全教室 歯科検診	地区祭典（神社参拝） 矢立小学校運動会 小学校と合同避難訓練（震度 7 地震）
6	保護者会草取り 親子バス遠足 個人面談	矢立小学校 2・3 年生との交流
7	絵本読み聞かせ（花岡保育所交流） プール開き 夕涼み会	夕涼み会（保護者会主催・公民館協賛） 矢立育成園（夕涼み会に招待） 北陽中学校ボランティア
8	プール参観	ブルーベリー摘み（日景宅）
9	秋の健康診断 りんご狩り 運動会	敬老会（3・4・5 歳児参加）
10	秋の遠足 防犯訓練（警察署に依頼） 焼き芋会（祖父母交流） 絵本読み聞かせ（花岡保育所交流）	就学時健康診断 矢立小学校評議委員会
11	歯科講習会	公民館祭り参加 餅つき会（矢立公民館・保護者会主催） 矢立育成園と交流 矢立小学校感謝集会
12	お遊戯会	矢立小学校 1 年生との交流

月	行事	地域・学校関連
	クリスマス会	デイサービス慰問
1	保育参観 個人面談	
2	豆まき お茶会 新入所児健康診断と入所説明会	矢立小学校体験入学 矢立小学校評議委員会 矢立育成園除雪ボランティア
3	ひな祭り会 お別れ会 お別れ遠足（5歳児） 卒園式・修了式	矢立小学校卒業式 北陽中学校〃

『毎月の行事』避難消火訓練、防犯訓練、交通指導、身体測定、お誕生会

## 平成 30 年度 年間事業計画（長木保育所）

### 保育目標 みんな仲間 地域で育とう 長木っ子

- 育てたい子どもの姿
- ・生き生きと遊べる子ども
  - ・豊かに表現できる子ども
  - ・友達と仲良く遊べる子ども
  - ・地域との触れ合いを楽しめる子

月	行事	地域・学校関連
4	5日 入所式	小学校入学式 水交苑慰問 桜まつり遊戯披露
5	<input type="radio"/> じゃがいも種イモ植え <input type="radio"/> 保育参観日 <input type="radio"/> 祖父母交流さつまいも苗植え <input type="radio"/> 5歳児個人面談	
6	<input type="radio"/> 歯科検診 <input type="radio"/> 親子バス遠足 <input type="radio"/> 2,3歳児個人面談	長木地区運動会
7	<input type="radio"/> お泊り保育（年長児） <input type="radio"/> 4歳児個人面談 <input type="radio"/> 夕涼み会	保・小交流会 (長木小)
8	<input type="radio"/> 自由保育参観の週（プール見学・弁当見学） <input type="radio"/> じゃがいも掘り <input type="radio"/> 総合避難・消防訓練	公民館高齢者学級交流会
9	<input type="radio"/> 健康診断 <input type="radio"/> 運動会	長木地区敬老会遊戯披露 水交苑敬老会遊戯披露 デイサービス敬老会慰問
10	<input type="radio"/> 歩き遠足 <input type="radio"/> 祖父母交流さつまいも掘り <input type="radio"/> 焼いも会 <input type="radio"/> ハロウィンごっこ	長木地区公民館祭り遊戯披露 保・小交流会 (長木小)
11	<input type="radio"/> 親子歯科講習会	

月	行事	地域・学校関連
12	<input type="radio"/> 発表会 <input type="radio"/> クリスマス会	デイサービスクリスマス会慰問 (ショートステイとんぼ)
1	<input type="radio"/> 5歳児個人面談 <input type="radio"/> 保育参観日（講演会）	
2	<input type="radio"/> 節分（豆まき会） <input type="radio"/> 平成31年度入所児童健康診断 <input type="radio"/> 卒園記念写真撮影 <input type="radio"/> 総合避難訓練（通報訓練）	保・小交流会（各小学校）
3	<input type="radio"/> 平成31年度新入所児童説明会 <input type="radio"/> ひな祭り会 <input type="radio"/> お別れ会 <input type="radio"/> 卒園式・修了式	小学校卒業式

※ 毎月の行事…身体測定・誕生会・交通安全指導・避難訓練・防犯訓練・布団持ち帰り  
消毒・絵本配布

